

# 学習評価の在り方

～記録に残す評価を行うための言語活動等について～

---

# 外国語教育はこう変わる！

お伝えすること

1. 言語活動に取り組みませよう
2. 言語活動を通して指導しよう
3. 単元など内容や時間のまとまりを見通して指導しよう
4. 指導と評価を一体化させよう
5. 小中連携を進めよう



文部科学省

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



# 「引き出しの数」を増やそう！

## 新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校 外国語科)

文部科学省  
初等中等教育局  
教育課程課教科調査官 山田 誠志



NITS 独立行政法人教職員支援機構

独立行政法人 教職員支援機構

<https://www.nits.go.jp/materials/youryou/058.html>

「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料

中学校  
外国語

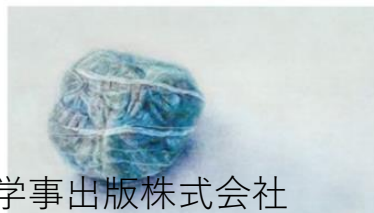
国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/s/hidousiryu.html>

## 中等教育資料 3

特集  
外国語教育について

教育小誌 高橋宏輔 (株式会社ソラシエ代表取締役社長)  
創刊1000号記念連載 学習指導要領Chronicle



学事出版株式会社

<http://www.gakuji.co.jp/book/06057-3-2020.html>

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する  
**中学校英語指導事例集**

- ★映像資料と指導資料 2つの資料で解説！
- ★調査問題の分析結果と課題を 学力調査官が解説！
- ★汎用性のある学習過程の紹介！

国立教育政策研究所教育課程研究センター

## 英語情報Web

「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料  
外国語

山田調査官から学習評価と指導について

文部科学省 初等中等教育局  
情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室  
山田 誠志 教科調査官

英語検定協会

<https://eigojoho.eiken.or.jp/>

表現の領域は、一つの言語活動で全て同時に評価することもできる

	聞くこと	読むこと	「やり取り」 話すこと	「発表」 話すこと	書くこと
知識・技能  特定の 言語材料  事例4	「目場状」の設定は、「適切さ」を判断する基準になり得る。  適切な表現内容とはどのような内容であるかを指導しておく。  「目場状の設定は、目的ではなく手段。		英語使用の正確さ  事例1		
思考・判断・表現  対の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を頑張って覚えようとした。</li> <li>・「ワーク」を期限通り提出した。</li> <li>・導入時に意欲をもった。</li> </ul> 「振り返りシート」の記述内容を反映させてよい？		目的・場面・状況に応じた表現内容の適切さ  事例1		
主体的に学習に取り組む態度	言語活動で表出された態度  (基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する)  事例1～3、5 (特に事例5)				

# ALTに大垣市のことを紹介しよう。



日本の歴史とスポーツに興味があるALTに大垣市を好きになってもらえるよう大垣市のことを紹介しよう。

(例)

- ・自分のことをよく分かってもらうために…。
- ・友達のよさが伝わるように…。
- ・外国人観光客が興味をもつように…。

※新しく来るALTに、自分のことをよく分かってもらうために、自己紹介をしよう。

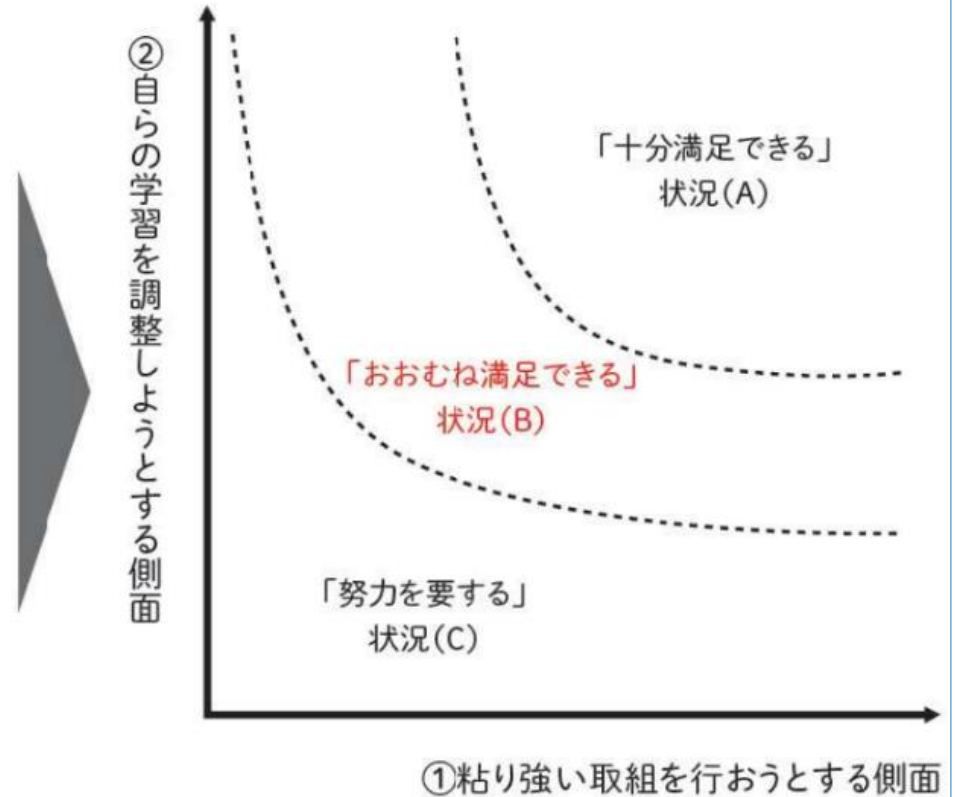
「目場状」の設定は必須。  
評価場面に至るまでに「思判表」の視点から指導する。

※相手意識…表現内容が適切か否かは相手に聞く。

## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



これら①②の姿は実際の教科等の学びの中で別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。

## なぜ、基本的に「態度」は「思判表」と一体的に評価するのか

単元の評価規準は、授業中の言語活動やパフォーマンステスト等で実際に見取ることができる規準となるよう、「思考・判断・表現」と対の形にしている。

p.79 (事例5)

「思考・判断・表現」の評価規準には、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを必ず含むものとしている。目的や場面、状況などに応じたコミュニケーションを図ろうとするためには、「外国語の背景にある文化に対する理解」や、「聞き手、読み手、話し手、書き手への配慮」が必要である。このことも、「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準を、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の評価規準と対の形とし、基本的には一体的に評価することができるとした理由である。

p.79 (事例5)

## なぜ、基本的に「態度」は「思判表」と一体的に評価するのか

ただし、生徒の特性や学習段階により、主体的に学習に取り組む態度が必ずしもコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた発話や筆記等に表れない場合もあるため、そのような段階にある生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の評価結果は、「思考・判断・表現」の評価結果と一致しない場合もある（事例1参照）。

「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価しつつ、言語活動への取組状況を観察しその結果を加味するということであり、生徒の態度を見取ることはこれまで同様重要である。

## 「指導計画の作成と内容の取扱い」(2)エ(イ)

文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、コミュニケーションの目的を達成する上での必要性や有用性を実感させた上でその知識を活用させたり、繰り返し使用することで当該文法事項の規則性や構造などについて気付きを促したりするなど、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。



# 特定の言語材料 評価方法

事例 4

(例) 現在進行形

空欄に入る最も適切なものを一つ選びなさい。

He (            ) badminton with Yuki.

ア play    イ playing    ウ is playing

空欄に入る最も適切なものを一つ選びなさい。

A: Where is Mike?

B: Over there. He (            ) badminton with Yuki.

ア plays    イ played    ウ is playing

# パフォーマンステストだけではなく、 授業中に評価することも必要

- 単元で記録に残す評価を行う活動を決める  
例) 単元終末の活動
- 単元最終ページを活用する場合、示されしすぎいないかを確認。
- 「目場状」の設定は必須。

表現の領域は、一つの言語活動で全て同時に評価することもできる

	聞くこと	読むこと	「やり取り」 話すこと	「発表」 話すこと	書くこと
知識・技能  特定の 言語材料  事例 4	話されたり書かれたりしていることそのもの  事例 2、3		英語使用の正確さ  事例 1		
思考・判断・ 表現  ↑ 対の 関係 ↓	目的・場面・状況に応じて 捉える必要があること (必要な情報、概要、要点)  事例 2、3		目的・場面・状況に応じた 表現内容の適切さ  事例 1		
主体的に 学習に 取り組む 態度	言語活動で表出された態度  (基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する)  事例 1～3、5 (特に事例 5)				

(3) 次の表はある学級の時間割です。時間割の内容と合っている英文を、右の1から5までの中から全て選びなさい。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1	math	English	science	social studies	math
2	Japanese	math	music	P.E.	English
3	English	science	math	fine arts	social studies
4	science	P.E.	technology and home economics	moral education	science
lunch time					
5	P.E.	Japanese	social studies	English	integrated study
6	social studies	classroom activities	/	Japanese	integrated study

- 1 The students have five classes on Monday and Wednesday. They have six classes on the other days.
- 2 On Friday, the students study math and science, but they don't study Japanese.
- 3 The students have four English classes in a week. They have four P.E. classes, too.
- 4 The students have a music class on Wednesday morning.
- 5 The students don't study fine arts on Thursday. They study it on Tuesday.

# English Café

Free English Program

**Date** : Sunday, June 3rd

**Time** : 3:00 p.m. - 5:00 p.m.

**Place** : City Hall Restaurant

## *Come to English Café and ...*

- 1 {
  - You can enjoy speaking English with people from many countries.
  - You can learn about their countries: the U.S., Australia, Canada, China, India ....
- 2 {
  - You will have a chance to tell them about Japanese traditional things in English. Please think of something to talk about.
- 3 {
  - We are going to have some food from other countries.
  - Of course, there will be Japanese food, too.
- 4 {
  - If you have any questions about the program:
  - You can send an email to [midori@xxxx.xx](mailto:midori@xxxx.xx),
  - call 0120 - □□□ - □□□ , or visit our office at City Hall.

次の英語は、あなたが見つけたイングリッシュ・カフェという催しのホームページの一部です。参加者が事前に準備すべきことを知るためには、この中の1～4のどの部分を読めばよいですか。最も適切なものを1つ選びなさい。

留学生のトムからあなたに頼みごとがあり次のようなメールがきました。  
トムが一番伝えたかったことは何ですか。

要点を  
捉える  
問題に

Dear Tom,

Hello. How are you? I'm fine, and I'm enjoying my life here in Japan.

When I was in Australia, I watched a Japanese TV program on food and found that Japan is famous for noodles. I learned Kagawa is famous for *udon*.

Last weekend, I went there with my family to eat *udon*. There are many *udon* restaurants in Kagawa and we visited 6 of them in one day. Each of us ate 6 bowls of *udon*! Can you believe that? I felt too full to eat any more at that time. However, now, I want to try them again.

Anyway, I bought *udon* in Kagawa for you and your grandmother. I will bring them tomorrow so please take some to her. See you soon.

Tom

# 定期テストだけではなく、 授業中に評価することも必要

## 「読むこと」の場合

- ・教科書を読ませる際は、「思判表」を評価する問いも。
- ・教科書記載の問いの確認を。
- ・「目場状」の設定は必須。
  - ※目的をもって読むという読み方をさせることは必要。
- ・問いの例は、参考資料p.59(事例2)参照。

	解答形式	問題の種類
必要な情報	選択式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文（プレゼンテーションやアナウンス）を聞いて、適切な表やグラフを選ぶ問題（L）</li> <li>・ 英文（アナウンス等）などを聞いて、聞き手が次に取るべき行動を選ぶ問題（L）</li> <li>・ イベントのポスターから開催日時やタイムスケジュールを聞いたり読んだりして、自分がどの時間帯に参加するかを決める問題</li> </ul>
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し手の状況や意向，疑問を聞き取り，助言や感想を記述する問題（L）</li> <li>・ イベント紹介のパンフレット等を読み自分の目的に合うものを選ぶ問題（R）</li> </ul>
概要	選択式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の概要に合う絵や図，グラフ，英文等を選ぶ問題</li> <li>・ 英文の概要に合うよう，絵や図等を並べ替える問題</li> <li>・ 英文の概要をまとめた別の文章を選ぶ問題</li> <li>・ 英文の概要に合うトピックとその順番を選ぶ問題</li> <li>・ 時系列で話されたり書かれたりしている英文の内容に合うよう，英文を並べ替える問題</li> </ul>
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の内容に合うように，表やグラフ等の空欄を単語等で埋める問題</li> <li>・ 英文の概要を書く問題</li> <li>・ 英文全体の内容に合うようにタイトルを付ける問題</li> </ul>
要点	選択式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の要点に合う英文を選ぶ問題</li> <li>・ 英文の要点をまとめた別の文章を選ぶ問題</li> </ul>
	記述式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の重要な点に合うようにタイトルを付ける問題</li> <li>・ 英文の要点を書く問題</li> <li>・ 英文の要点について，自分の意見（賛否）とその理由を書く問題</li> </ul>



### ■必要な情報を読み取る場合

- ・目的や場面、状況などを設定し、自分が必要とする情報（数字や天気などのキーワード）が何か意識させてから読ませる。

### ■概要を捉える

- ・ペアで「5W1H」について質問し合いながら読ませる。
- ・図や表にまとめながら読ませる。
- ・時系列で書かれた文章は、時を表す語句に着目させて読ませる。
- ・各段落の最初の1～2文をまず読ませる。

### ■要点を捉える

- ・筆者の伝えたいことは何かを予想させたうえで、読ませる。
- ・So, Therefore, In conclusion など結論等を表す語句に着目して読ませる。

これらの指導をしても読み取ることができない生徒に対しては、例えば以下の指導が考えられる。

- ・読む前に、絵や図に書かれていることについて生徒とやり取りをしながら、文章のキーワードに気付かせる。
- ・読む前に音声を聞かせる。
- ・物語などを読む際には、展開に合わせて絵を並べ替えさせる。
- ・意味のかたまりごとに英文にスラッシュを入れさせて（またはスラッシュを入れた本文を）読ませる。

- ・ 会話文の場合

誰と誰の会話なのか、どのような場面で話しているのか、どのようなテーマについて話しているのかを明確にさせる。

- ・ 講話や説明文の場合

話し手はどのような立場の人物か、どのような場面で話しているのか、どのようなテーマについて話しているのかを明確にさせる。

これらの指導をしても聞き取ることができない生徒に対しては、例えば以下の指導が考えられる。

- ・ 音に慣れさせる： 意味のまとまりでポーズを取るなどしてスクリプトを読む。
- ・ 単語を確認させる： 聞き取れなかった部分を、スクリプトで確認しながら聞かせる。その後、スクリプトなしで再度聞かせる。
- ・ リズムを感じさせる： 音の連結や音の変化、音の強弱等が現れている部分を、スクリプトを見ながら聞かせ、確認する。編成変化している部分のみを取り出して聞かせてもよい。
- ・ 音読させる： 聞けなかった箇所を意識しながら音読させる。

# 外国語教育はこう変わる！（文部科学省 mextchannel）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



中学校1年生

中学校の外国語教育  
～社会的な話題を聞いて、



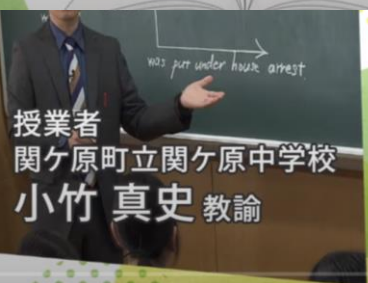
中学校の外国語教育はこう変わる！⑤「統合的な言語活動の指導の工夫」

中学校3年生

中学校の外国語教育はこう変わる！④  
～日常的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～



授業者  
中野区立中野東中学校  
井上 智絵 主任教諭



授業者  
関ヶ原町立関ヶ原中学校  
小竹 真史 教諭





平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する

# 中学校英語指導事例集

★ **映像資料**と**指導資料** 2つの資料で解説！

📺映像資料

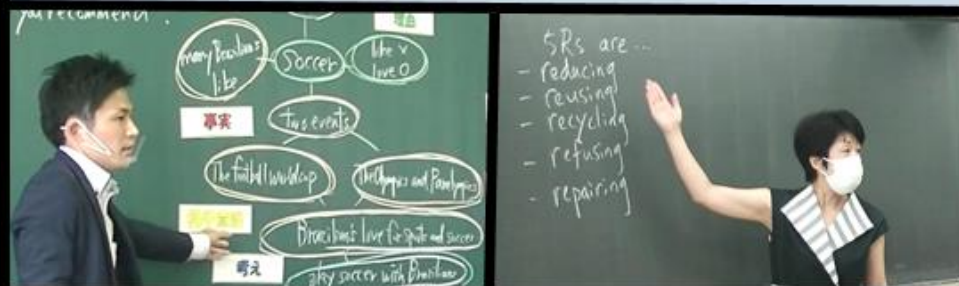


★ 調査問題の**分析結果**と**課題**を  
学力調査官が解説！

📄指導資料



★ 汎用性のある**学習過程**の紹介！



# 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

英語

TYPE  
L

7

## 「書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう」

～文章の構成や展開に留意し、大切な部分をとらえる～

まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、書き手の一番伝えたいことを読み取る力を身に付けるための指導事例を紹介します。

### 課題の見られた問題の概要と結果

#### 7 説明文の大切な部分を読み取る

正答率 **33.5%**

チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する

### 学習指導要領における領域・内容

言語活動  
ウ 読むこと (ウ)

### 授業アイデア例

#### 【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



英語

TYPE  
L

4

## 「適切に応じるために聞き取る力を高めよう」

～アドバイスを書くためにメッセージを聞く～

適切に応じるために内容を聞いて把握することに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るべきか考えながら聞き取ることができるようになるための指導事例を紹介します。

### 課題の見られた問題の概要と結果

#### 4 聞いた内容について適切に応じる

正答率 **8.5%**

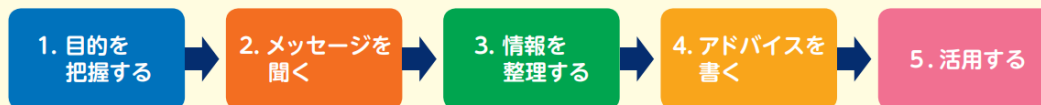
来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く

### 学習指導要領における領域・内容

言語活動  
ア 聞くこと (ウ)

### 授業アイデア例

#### 【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



表現の領域は、一つの言語活動で全て同時に評価することもできる

	聞くこと	読むこと	「やり取り」 話すこと	「発表」 話すこと	書くこと
知識・技能  特定の 言語材料  事例 4	話されたり書かれたりしていることそのもの  事例 2、3		英語使用の正確さ  事例 1		
思考・判断・ 表現	目的・場面・状況に応じた 捉える必要があること (必要な情報、概要、要点)  事例 5		目的・場面・状況に応じた 表現内容の適切さ  事例 1		
主体的に 学習に 取り組む 態度	言語活動で表出された態度  (基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する)  事例 1～3、5 (特に事例 5)				

# 言語活動に取り組ませることが大前提

# 外国語教育はこう変わる！

## お伝えすること

1. 言語活動に取り組みませよう
2. 言語活動を通して指導しよう
3. 単元など内容や時間のまとまりを見通して指導しよう
4. 指導と評価を一体化させよう
5. 小中連携を進めよう

